

平成 27 年度 第 1 回北区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成 27 年 8 月 27 日(木)午後 1 時 30 分から午後 3 時まで
会 場	豊栄地区公民館2階大講堂
出席者	<p>北区自治協議会委員 25名(欠席5名)</p> <p>教育委員:吉村教育委員、佐藤教育委員</p> <p>事務局:教育総務課長、地域教育推進課長補佐、教職員課管理主事、 学校支援課長補佐、豊栄地区公民館長、北区教育支援センター所長</p> <p>傍聴者:1名</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員挨拶(佐藤教育委員、吉村教育委員)</p> <p>3 出席者紹介</p> <p>4 教育委員会制度の変更点について</p> <p>5 事前質問について</p> <p>(1) テーマ:「命の教育～生きる力、支え合う力を育てる環境づくり～」</p> <p style="padding-left: 20px;">①テーマ設定の理由・目的について(北区自治協議会委員)</p> <p style="padding-left: 20px;">②事務局の説明(学校支援課長補佐)</p> <p>(2) テーマ以外(教育委員会事務局)</p> <p>6 意見交換</p> <p>自治協委員</p> <p style="padding-left: 20px;">なぜいじめや子どもの自殺がなくなるのか。</p> <p>教育委員会事務局</p> <p>学校では、いじめをなくすための努力をしていますが、さらに努力が必要と感じています。</p> <p>自殺予防については、授業が再開される時期などを捉えて特にていねいに見取りを実施するよう指導し、学校ではアンケート等を実施しています。</p> <p>また、昨年度、北区においては木崎中学校や南浜中学校で実施しましたが、現在実施している「命の大切さ」という、命について考える取組を進めていきたいと考えています。</p> <p>自治協委員</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマ「命の教育」について、教育委員としての考えを聞きたい。</p> <p>教育委員</p> <p>秋葉区の中学校区教育ミーティングの際に、パートナーシップ事業として公民館と学校が連携して実施した「プレママ講座」の紹介がありました。北区でも同じような取組を実施していると聞いています。このような良い取り組みが各区に広がってほしいと思いますので、様々な機会を通じて話していきたい。子どもたちを地域で</p>

支えることが大切だと思います。

教育委員

近年、命を絶つ報道をよく聞くようになりました。社会全体で、子どもたちに何を教えればよいのか考えていかなければならないと思います。

新潟市の小・中学校でのいじめの数は毎年横ばいです。いじめの定義が変わるたびに数も変わりますが、解決の度合いも横ばいであることが課題だと思います。

自治協委員

各小学校にビオトープのような自然観察が可能な場所を設置してほしい。

子どもたちが自然の中の食物連鎖から命の大切さを学ぶことができ、理科離れの解消にもつながると思うからである。

岩手県のケースでもあった、連絡帳への先生の対応が課題だと思う。岩手県で起きたことはここ北区でも起こりうる。市の教育委員会や学校はどのようなリスク管理を実施しているのか聞きたい。

教育委員会事務局

生活ノートや連絡帳は、保護者と先生が日常の中での子どもの声や訴えを知るための方法の一つです。学校の中での情報共有が大切であり、それによりいじめなどを早期発見することができると思います。そこで、情報共有を各学校で進めるよう指導しており、学校でも取り組んでいます。

自治協委員

共有事項をまず決め、風通しの良い環境を作ってほしい。また、官と民との協働の中で、問題をシェアして解決する道筋を立ててもらいたい。

自治協委員

私は、小学校の地域教育コーディネーターをしている。子どもたちを見ていると、イライラしている子が多いという印象を受けるので、地域の方や保護者が学校に入ってもらうパートナーシップ事業は非常に良い制度である。

学校では命の大切さやいじめについて取り組んでいるが、先生は何かと忙しく親も仕事や介護等で忙しい。中学生は内申書や受験によりイライラを抑え込んでいるような気がするし、学力や人としての強さも身に付けなければいけない状況である。

自治協で何ができるのかが見えてこないのので、教育委員として自治協がサポートできることを教えてほしい。

教育委員

子どもも大人も、情報化社会の中で処理しなければならないことが多く、対処することで精一杯なのではと思います。

子どもがイライラしているのは、親がイライラしていることが一番の原因だと感じています。朝から親に怒られている子が多いので、ゆったりした気持ちで学校へ送

り出すなど、親は心にゆとりを持って子どもに対応してほしいと、自治協からも伝えていっていただきたい。

教育委員

学・社・民の融合による教育の推進のため、本日の会議のように地域の方との懇談会を昨年から開催するようになりました。また、地域教育コーディネーターの存在が土壌となって、学校や地域との連携が進んでいます。今の体制を充実させてほしいし、本日の話の内容を広げていただきたい。コーディネーターや学校にも頑張ってもらいたい。

先ほど「風通しの良い」という表現がありましたが、家庭や学校生活、大人と子どもの中において、風通しの良い付き合い方ができたら良いと感じました。

自治協委員

生活ノートは、先生がどのように子どもと向き合っているかがわかるものなので、子どもが見た場合には感じる人が多い。そのため、大事に扱わなければいけないものと思っている。

自治協委員

傾聴活動を進めることが大切だと思う。

親に言葉を吐き出す場所や機会があれば、穏やかな気持ちを持ってもらえるのではないかと。また、先生にも誰かが寄り添い、話ができる場があるとケアにつながると思う。

子どものイライラを解消するため、食育は大切だし、子どもの話を親が聞いてあげることも大切だと思う。

地域の中で、話を聞いてもらえる機会や人づくりを進めることが必要だと思う。

自治協委員

小・中・高校生はどのくらいの割合でスマートフォンを持っているのか、データを把握しているか。

また、スクールカウンセラーは北区に何人配置されているか。

教育委員会事務局

スマートフォンの所有の割合は教育委員会では調査をしていますが、小学校長会や中学校の生徒指導主事会でアンケート調査を実施しているため、年度末には把握できると思います。

スクールカウンセラーは、各中学校に1名配置しています。

自治協委員

ある学校で、命の大切さの講話の際に全校生徒の前で、さだまさしの「いのちの理由」という歌を流した。生きることは苦しみや悲しみがあるが、そのあとには喜びがあるということを歌っている。子どもたちには、「いのちの理由」を聞いて命の大切さを知ってほしいと思う。

自治協委員

最近、いじめに伴う中学生の自殺やスマートフォンが関係して子どもが犯罪に巻き込まれる事件が全国で報道されている。

市教育委員会として、犯罪に合わないような教育は実施しているか。

北区教育支援センター所長

防犯教育を北区の各小学校で実施しています。

教育委員会事務局

スマートフォン等の扱いについては、適切な指導を各学校で行っております。夏季休業中などを含め、きちんとした生活を過ごすよう日常から指導するとともに対応しています。

7 北区自治協議会会長挨拶

8 閉会